

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	学校法人 麻生塾
所在地	福岡市博多区博多駅南 1-14-7
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	教育、学習支援業
電話番号	092-235-5664
ホームページ	https://asojuku.ac.jp/

Well-being 向上 に向けた取組み	新人面談やよろず相談室、パルスサーベイにより職員の声を継続的に把握し、早期支援につなげている。新卒には 1 年間の部門別研修を実施し、多角的な OJT を提供。全教職員向けにも多様な研修を毎年実施し、知識や視野拡大を支援している。さらに自己啓発促進として推薦図書の購入補助制度を設け、一人ひとりの成長を後押しする体制を整えている。		
アンケート実施	<input type="radio"/>	アンケートの 社内共有	<input type="radio"/>

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: 学校法人 麻生塾

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン		SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○	○	女性・障がい者・外国人材など多様な人材が活躍できる環境を整備し、それぞれが強みを発揮できる職場づくりを推進。多様性を尊重し、個にフォーカスした適材適所の配置に取り組んでいる。					○		○	○									
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○	○	テレワークや半日出勤、1時間単位の年休制度を適宜活用し、ライフスタイルに応じた柔軟な働き方を選択できる。2カ月前に休日シフトを確定させるなどワークライフバランスを推進している。					○	○	○	○									
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○	○	ハラスメント防止規程を定めている。また、ハラスメント防止委員会を設置し、2年に1度、ハラスメント自己チェックアンケートを実施。結果を全体に共有している。「あんしんのたね」というハラスメント相談窓口も設け、問題が生じた際に常にに対応できる体制を整えている。					○	○	○	○						○			
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○	○	入社1年目の全員を対象とした新人面談をはじめ、教職員がなんでも気軽に相談できる窓口「よろず相談室」を設置している。入社3年目までの全教職員を対象としたパルスサーベイを毎月実施し、心やモチベーションの変化をより早くキャッチし対応できる体制を整えている。		○	○	○	○	○	○	○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○	○	新卒社員に対しては、1年間の部門別研修を実施し、多角的なOJTの機会を提供している。全教職員の能力開発と自己啓発を目的として、様々な研修を毎年実施。教職員一人ひとりの学びを後押しし、業務に役立つ知識や視点を広げてもらうことを目的に、推薦図書の購入費用を補助する制度も新設。		○	○	○	○	○	○	○									
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	備品の棚卸を行い、使わなくなった棚やデスク、イス等について他校で活用するなどリユースの取り組みを積極的に行ってている。全校でごみの分別の徹底や週一で資源物回収を行っており、リサイクルの推進も行っている。		○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	○	節電においては、学内にて「節電アクション」の協力を呼び掛けるポスターを掲示。その他、ごみの分別とリサイクルの強化、ペーパーレスの推進においては書類のデジタル化、学生向け配布資料の電子化などに取り組んでいる。						○			○	○	○	○					
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	○	クールビズは暑さ対策だけではなく、エネルギーの削減を通じた生物多様性の保全、持続可能な資源利用への第一歩と捉えている。冷房温度を抑えることで、電力使用量を削減。発電時の温室効果ガス排出が減るため、気候変動の緩和に貢献し、それが間接的に生物多様性の保全につながるという意識啓発を行っている。							○			○	○	○	○	○	○	○	
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○		○	校舎毎の定期的なモニタリングにて水使用量を把握している。月次・年次で使用量と費用をチェックし、水道料金の分析によって異常な早期発見につなげている。節水を働きかけるポスターの掲示など教職員、学生への啓蒙活動も実施している。								○			○						
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○	○	教育課程編成委員会を実施し、社会のニーズに合った実践的な教育を行うために、企業や産業界の意見を取り入れ授業科目的開設や教育内容・方法の改善・工夫などを実行している。また、毎年自己点検・自己評価を実施し、職業教育の質保証と向上に取り組んでいる。		○									○			○			
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	福岡地域戦略推進協議会の会員企業として、九州、アジア地域との連携を図り、プロジェクトを推進。九州各県(大分県を除く)とのUIターン就職の協定を結び、九州圏内の労働力不足、若者流出の問題について共に課題解決に向けて取り組んでいる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○		○	個人情報保護基本方針および個人情報保護管理規程にて、取得・利用のルール化や安全管理措置の徹底について定めており、全教職員が常に閲覧できるフォルダに格納している。法令に基づくだけでなく、信頼ある教育機関としての責任として、教職員の意識向上に努めている。															○		
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○		○	独自のルールブックにてルールの見える化と運用の徹底を図っている。定期的に実施する自己点検にてコンプライアンス全般についても各部門ごとで振り返り、見直しを図る機会を設けている。加えて、公益通報制度を整備・周知し、通報者の保護体制を明確にしている。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○		○	年度始めにキックオフを実施し、経営者から経営方針が発表され、経営テーマ、重点目標等が共有される。同時にそれを踏まえた各部門の管理監督者から運営方針と行動計画が発表され、全教職員へ動画で展開。また当該資料は常に確認ができるよう教職員ポータルサイトに全て掲載している。											○	○				○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	全教職員の安否確認情報登録により、事故や災害時に安否確認メールが送信され迅速に安否確認がとれる体制を整えている。											○	○	○	○	○	○	